



Inclusive support

地域包括支援センター

行方市地域包括支援センター

☎0299-55-0114

いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、高齢者やご家族の皆さんを、医療、保険、介護および福祉など、さまざまな面から総合的に支援します。

悪質商法から自分の身を守りましょう

人をだましてお金を儲けようとしている悪質な業者や犯罪者が増えています。

その中でも特に高齢者が狙われやすくなっています。

なぜ、高齢者が狙われやすいのでしょうか？

①「高齢者＝お金持ち」と思われている！

長年働いて得た退職金や老後のためにコツコツと貯めたお金、さらに年金が狙われています。



②「高齢者だけの世帯」「高齢者の一人暮らし」が狙われている！

話し相手がない寂しさや高齢者の人の良さにつけ込み高額な契約をさせます。一人暮らしの場合には、身近に相談相手がないため狙われやすい傾向にあります。

③「老後の生活の不安」につけ込まれる！

特に健康・孤独・お金に対する不安につけ込み、甘い言葉で近づいてきます。

④悪質商法のワナに気づけない「判断力の低下」！

年を取るにつれ、判断力が低下し「あやしい」ことに気づくことが遅くなってしまいます。「自分は大丈夫」と思い込むのは極めて危険です。

◎悪質商法の被害に遭わないためにも次の5つのことが大切です

- 必要ないものは「買いません」とはっきり断る。
- 簡単にドアを開けず、まずは名前と訪問の目的を聞く。
- 即断、即決は絶対にダメ。必ず誰かに相談する。
- 甘い言葉には裏がある。疑うこと。
- 一人で悩まず、身近な人や相談窓口に相談する。



悪質商法の被害をくい止めるためには、高齢者と日常的に接している身近な方々が、まず変化に気づき、相談機関につなげることが重要になります。相談が早ければ早いほど、被害を防ぐこと、被害を軽減することができます。一人で悩まずに、すぐに相談しましょう。